

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 30 日

事業名称		広聴活動費 [広聴事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	2			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	秘書広報課		課 市民相談担当			係	課長名	五十嵐 孝雄			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 3			
【施策名】 市民自治の向上							総合計画書(ページ)	127			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民			市内総人口(令和2年4月1日現在)							
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	様々な手段により、市に対し意見や要望を伝えることができる。			意見や要望の受付件数/市に対し意見や要望を寄せていただいた件数							
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	個人の市民の方からは、市長への手紙やホームページを介してご意見・ご要望を寄せていただき、団体からは、要望や陳情として、それぞれ行政に対するご意見を寄せていただいた。			①個人の市民の方からの「市長への手紙」、「ご意見・ご要望」の受付件数 ②団体からの要望・陳情の受付件数							
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100.0					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100			
	目標値設定の考え方 希望する市民が、漏れなく意見や要望を市に対して寄せることができる手段を用意する。										
3 経費	事業費(実績)	円	264,702	411,670	624,223	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	円	264,702	411,670	624,223						
	一般財源	円	0	0	0						
	特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
	(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4						
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)	円	3,297,600	3,324,000	3,352,000							
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費	円	3,562,302	3,735,670	3,976,223							
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭45 年度									
	(2) 環境の変化	新型コロナウイルス感染症拡大に関する意見が、個人、団体とも多数寄せられた。									

事業名称	広聴活動費 [広聴事務]			
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係 課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・「決まった書式で提出する必要があるのか」などの質問が寄せられた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥(市報、市の公式ホームページ) 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市報での周知は年1回だが、回数について検討する。			
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 公聴事務の周知状況を分析し、事務執行に活かす。			
8 施策貢献状況	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 意見提出の方法等について、市報で周知に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 周知内容について、精査していく。			
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 市民自治の向上 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 様々な手段(手紙、メール、FAX等)により意見を聴き、広聴事務を実施していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 市民からの意見提出の方法等に関する要望があった場合は、改善の可否を検討する。			